

薪ストーブのある暮らし、心までぬくもる暮らし

頑張る企業 Vol.76

みうみ 美湖エンジニアリング

所在地：栗東市安養寺76-33

T E L : 090-2590-3400

MAIL : miumi1@miumi-eng.com

U R L : <https://miumi-eng.com/>



代表
神林 寿英さん



今回ご紹介するのは、美湖エンジニアリング様です。事業として、薪ストーブの開発・設計、製造、販売をおこなわれています。代表の神林さんは、長年メーカーに勤務され、設計・開発業務に携わっておられました。2024年に新たな挑戦として、「熱エネルギー利用技術を提供し、地産地消の循環社会の構築と脱炭素社会に貢献」を企業理念とし、創業されました。事業を通じて地域と暮らしが豊かになるように努めておられます。

創業のきっかけ

サラリーマン時代から、地球温暖化やカーボンニュートラルといった環境問題に深い関心を寄せておられました。そうした想いから行き着いたのが、「薪ストーブ」でした。

薪ストーブの燃料である“薪”——つまり木材は、燃焼時に二酸化炭素を排出しますが、それは木が育つ過程で光合成によって吸収したものです。この循環により、カーボンニュートラルが実現され、環境への負荷が少ない暮らし方につながります。

地球にやさしく、人生を楽しむための薪ストーブを、神林さん自ら開発・販売を手がけています。また、地元の資源を活かす“地産地消”にも強い関心を持ち、緑豊かな滋賀県で、地域に根ざしたもののづくりと事業展開を進めておられます。

商品へのこだわり

薪ストーブの開発には深いこだわりを持って取り組んでおられます。特に重視されているのが、煙の原因となる不完全燃焼を防ぐための設計です。ストーブ内部に効率的に空気を取り入れる構造を工夫することで、燃焼効率を高め、クリーンな使用を実現しています。

また、デザイン面にも強いこだわりがあり、白銀比や黄金比を意識した美しいバランスに加え、曲線を多く取り入れた柔らかなフォルムが特徴です。構造面では、割れやひずみが起きにくい堅牢な設計となっており、予想耐用年数は20年と長く使い続けられるよう考慮され、内部の構成部品も共通化を図り、メンテナンスしやすい形状に設計されています。



薪ストーブ「すみれ」
グリルスペースを備えた
クッキングモデル

当所企画の商品の見せ方と売り方実践塾 京都ギフトショーを活用しての販路拡大

販路開拓の一環として、「商品の見せ方と売り方実践塾」および「京都ギフトショー」へご参加いただきました。まず、「商品の見せ方と売り方実践塾」には、事業をどのように軌道に乗せるか、経営の道筋を明確にしたいという思いからご参加いただきました。塾では、神林さんがもともと抱いていた会社としての存在意義をより明確にすることができ、さらに価格設定や商談の進め方についても実践的な学びを得られました。

続いて、「京都ギフトショー」には、新たな販路開拓を目的として出展。商談に向けた準備物の整備や、効果的な商談テクニックについてもサポートさせていただきました。展示会当日は、多くの来場者と商談の機会を持つことができ、実際に売上につながる具体的な商談も成立。また、来場者から自身の商材に対するニーズやフィードバックを得られたことで、「とても有意義だった」とのご感想をいただいています。

今後の展望

現在、神林さんはさらなる新事業展開も視野に入れ、積極的な事業拡大を計画されています。「京都ギフトショー」についても、今後機会があれば再び出展したいという意欲的なお声をいただいています。

また、草津商工会議所についても温かいコメントを頂戴しました。「常に丁寧に寄り添って支援していただき、実践的な内容のセミナーや補助金に関する的確なアドバイスがとても役立ちました。細やかなフォローもあり、安心して相談できます。ぜひ多くの方に活用してほしい」とお言葉いただいております。

皆様もぜひ経営に関するお困りごとがあれば、
草津商工会議所までご相談ください。